



▲別ショットの写真

今月の表紙は、12月11日に坂崎保育園で行われた、もちつき会です。子ども用の小さな杵つきが、園児たちにちょうど良い大きさだったようで、上手におもちをついていました。つくしたてのおもちをしょうゆや、きな粉で美味しくいただきました。

今月の表紙

みんなの広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課広報広聴G
E-mail:kikakujocho@town.kota.lg.jp ☎62-1111(内線334)
FAX63-5139

こうたの民話

『かや堂の観音さん』

岩堀の西、かや堂の地に、観音さんが祭られています。

この観音さんを造られたじかく大師さんについて、次のような話が伝えられています。

じかく大師さんは、しもつけの国(栃木県)の都賀の郡でお生まれになりました。お生まれになったとき、ふしぎなことがおきました。家のまわりに紫の雲がたちこめ、お家を包みこみました。

この紫色のふしぎな雲を見て、通りかかった、こうちというお坊さんが、

「このお家になにかあるのですか。」

と、おたずねになりました。すると、「いま男の子がうまれたところです。」

という返事でした。

こうちは、しばらくたってから、もう一度、家をおたずねになりました。そして、

「お宅の子どもさんが、大きくなったら、ぜひ私に預けてください。きつとりっぱなお坊さん

にしてみせます。」

とおっしゃいました。

こうちは、この子連れて比叡山延暦寺に行き、伝教大師最澄さんにお預けになりました。そして十五のとき、円仁という名前をたまわりました。

この円仁さん、伝教大師さんのおすすめによって、遣唐使の一員として、唐の国(中国)にお渡りになりました。そして、十二年間仏教の勉強をしてお帰りにしました。そのとき、とき、天皇から、慈覚大師という名前をたまわり、ついには延暦寺を代表するえらいお坊さんになりました。

かや堂の観音さんは、この慈覚大師円仁さんの彫られたものです。円仁さんは、初め比叡山の東、坂本にお堂を建てて祭ってみえましたが、その後しばらくして、京都のある貴族の方のところに移りました。それから縁あって、ここ幸田のかや堂の地にお祭りするようになったのです。

【こうたの民話】より

みんなの作品展!

平成27年度 第40回幸田文化協会文化祭
からのセレクトです



かんだとあん 神田 杜庵 さん



おおた ゆ み こ 太田悠美子 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、企画政策課広報広聴Gまでお送りください(デジカメ写真の場合はメールで。)

西三河の方言

「なるい」

「珍しい酒がはいったのでーえ」「ほっかん。はいじゃ、呼ばれーかの」

正月。この日はかりは、至福のひとつきを過ごしたいものです……

「はいでも、あなたにやちーとなるい、かしれんけんの」

「珍しいお酒が手に入ったからねえ」

「そうですか。では、御相伴に預かりましょうかね」

(中略)

「でも、あなたには、ちよつと(お酒が)弱いかもしれないけどね」

といつて意味です。

「なるい」は、「緩い」と書き、文字どおり「ゆるい」こと、緩やかなさまをいいました。現在は特に西日本で、土地や地形が緩やかなさま、平坦でなだらかなさまを「なるい」といつておぼわす。でも、この地方では、「きつい」の反対語として、例文のように酒などがきつくな、まうやかなさま、そして、人の扱いなどが厳しくなく、手ぬるいことを「なるい」といいます。

平成28年がスタートしました。正月ぐらいはと、気も緩みがちですが、世の中そんなにゆるいものではないですね。飲んだら乗るな。この一年も安全運転で行きましょう。(文・じろく)



青春トークリレー

△△△第274走者△△△

やまもと あきひろ
山本 晃寛 さん

坂崎区在住 21 歳 職業 大学生
身長 172cm 血液型 B 型
好きなタイプ 明るくて思いやりがある人
好きな芸能人 とんねるず

こんにちは。僕は教師になるために県内の大学に通っています。昨年の 10 月には、町内の小学校に教育実習へ行きました。初めはとても不安でしたが、子どもたちや先生方、一緒に実習を行った仲間など多くの方々に支えられて、とても充実した時間を過ごすことができました。そして、教師になりたいという思いがさらに強くなりました。

僕は 4 月で大学 4 年生になります。今年は教員採用試験の年でもあります。しっかりと勉強をして、夢を叶えられるように頑張りたいです。そして、いずれはお世話になった幸田町に戻ってきて、町内の学校で働きたいです。



掲載写真を印刷してプレゼント。
希望者は企画政策課まで。



わんぱくだより

「某月某日
『わしだ保育園』

『切り干し大根を作ったよ』

今年のわしだ保育園の畑の大根は大豊作。夏の終わりに蒔いた小さな種からこんなに大きな大根ができるんだと、びっくりするほど育ちました。その成長が嬉しくて毎日のように畑へ行き「大きくなったね」「もう食べれるかな?」とつぶやく子どもたち。「切り干し大根のおみそ汁が食べたい!」と、給食でも食べたことのある切り干し大根にするこ



▲大根をおろし器でする

給食のおみそ汁に入れてもらいました。自分たちで作った切り

とにしました。保育士も、「切り干し大根を作るおろし器あるよ。」と大盛り上がりで切り干し大根作りがスタートしました。保育士と一緒によろし器に大根を当て、慎重に作っていきます。できた大根の細いのを生で食べたり、干されていく大根のをぞきこんで、「いいにおい。」と喜ぶ子どもたち。後日、



▲おみそ汁にして食べたよ



▲切り干し大根が完成

うかと、子どもたちと一緒にわくわくしながら考えています。干し大根の味は格別。「おいしい。」と満面の笑みで大満足。次はどんな野菜を育てようか。

編集者のひとこと

新年あけましておめでとうござい
ます。編集者の K でございます。今年も一年よろしく願います。

年末年始の休みが近づいてくる、いろいろと休み中にやりたいことが思い浮かんでくるのですが、休み明けには何一つ出来ていない...という結果に終わり、毎日 5 分でも日々の積み重ねが大事だなと思う今日この頃でございます。

さて、先月は愛知駅伝の取材でモリコロパークに行ってきました。幸田町代表選手たちの雄姿を今月号の 6 ページで紹介しています。

幸田町チームは、連続で代表として出場している選手とボランティアスタッフがいて、とても雰囲気よくレースの準備がされていました。また、レースの前には、会場内の特設ブースで行われる各市町の特産品などが楽しめるようになっており、西尾市のうなぎ串 300 円に行列ができていました。今回は中継地点が 3 か所あり、全選手を撮影するため 3 人体制で臨みました。1 先生と T くんありがとうございました。そして、町の新春駅伝 ファミリージョギング大会もよろしく願います。年明けもイベント盛り沢山です。1 月 9 日の消防出初め式、10 日の凧揚げまつり、11 日の成人式と続きます。当日の快晴を願いつつ、みなさんの素敵な表情が撮影できるように頑張ります! (K)